

■コメント

1. インフルエンザ

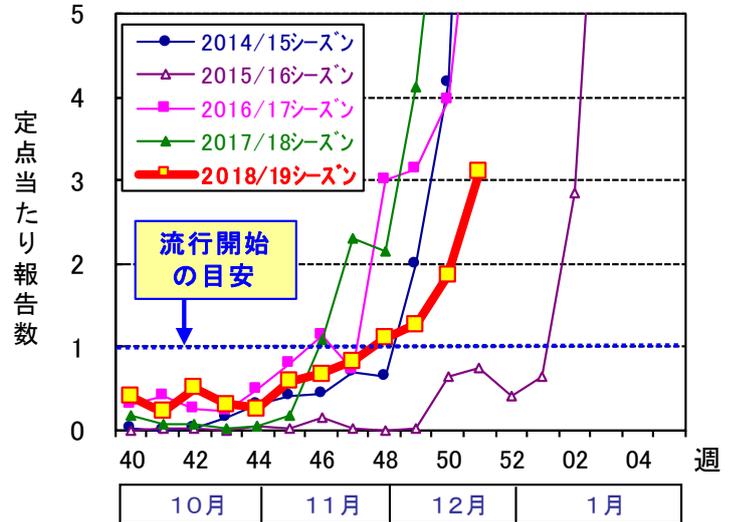
定点当たり3.11人と、前週の約1.7倍に増加しました。また、インフルエンザ様疾患による学級閉鎖等も2件報告されています。

インフルエンザは、流行が始まると、短期間に感染が拡大するため、注意が必要です。ワクチン接種、手洗いや咳エチケットなどインフルエンザ対策を徹底しましょう。(次頁参照)

2. 感染性胃腸炎

定点当たり12.7人の報告があり、前週と比べてやや増加しました。報告数が多くなっていますので、流水・石けんによる手洗いを励行し、便・吐物の適切な処理など感染予防対策を徹底しましょう。

インフルエンザの流行状況



■定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年間(注)	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年間(注)	発生記号
小児科	インフルエンザ	115	3.11	8.02	▲	小児科	流行性耳下腺炎	2	0.08	0.72	
	咽頭結膜熱	8	0.33	0.54		小児科	RSウイルス感染症	12	0.50	0.90	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	85	3.54	3.06	□	眼科	急性出血性結膜炎	-	-	0.05	
	感染性胃腸炎	304	12.67	11.76	□	眼科	流行性角結膜炎	7	0.88	0.85	
	水痘	15	0.63	0.86	▲	基幹	細菌性髄膜炎	-	-	-	
	手足口病	7	0.29	0.62		基幹	無菌性髄膜炎	-	-	0.09	
	伝染性紅斑	3	0.13	0.29		基幹	マイコプラズマ肺炎	-	-	0.20	
	突発性発しん	8	0.33	0.44		基幹	クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	
	ヘルパンギーナ	4	0.17	0.05		基幹	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	1	0.14		

急増減	▲	▼	前週と比較しておおむね1:2以上の増減
増減	▲	▼	前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減
微増減	□	□	前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減
横ばい	□		ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	37
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	5	136	女性(20歳代)・推定感染地域: 国外・1人、男性(30歳代)・1人、男性(80歳代)・3人
4	レジオネラ症	4	39	男性(70歳代)・1人、女性(70歳代)・1人、男性(80歳代)・2人
5	ウイルス性肝炎	1	6	男性(30歳代)・B型
5	梅毒	1	105	女性(40歳代)
5	百日咳	1	61	女性(40歳代)

■定点把握感染症報告状況(週報対象)の推移

報告数	広島市	インフルエンザ	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	RSウイルス感染症	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	(ロタウイルス)	感染性胃腸炎	
																					第47週
		31	5	74	161	14	9	6	6	4	2	6	-	5	-	-	-	-	-	-	-
		41	15	89	200	11	19	-	15	3	3	11	-	7	-	-	-	-	-	1	
		47	5	90	202	11	4	4	6	9	1	17	-	6	-	-	-	-	-	1	
		69	9	81	256	9	4	8	9	4	4	12	-	10	-	-	-	-	-	-	
		115	8	85	304	15	7	3	8	4	2	12	-	7	-	-	-	-	-	1	
定点当たり	広島市	0.84	0.21	3.08	6.71	0.58	0.38	0.25	0.25	0.17	0.08	0.25	-	0.63	-	-	-	-	-	-	
		1.11	0.63	3.71	8.33	0.46	0.79	-	0.63	0.13	0.13	0.46	-	0.88	-	-	-	-	-	0.14	
		1.27	0.21	3.75	8.42	0.46	0.17	0.17	0.25	0.38	0.04	0.71	-	0.75	-	-	-	-	-	0.14	
		1.86	0.38	3.38	10.67	0.38	0.17	0.33	0.38	0.17	0.17	0.50	-	1.25	-	-	-	-	-	-	
		3.11	0.33	3.54	12.67	0.63	0.29	0.13	0.33	0.17	0.08	0.50	-	0.88	-	-	-	-	-	0.14	
	全国	1.70	0.66	3.07	8.86	0.60	0.62	0.96	0.42	0.11	0.13	0.51	0.02	0.94	0.02	0.03	0.37	0.01	0.04	0.04	
		3.35	0.73	2.96	9.24	0.63	0.61	0.88	0.39	0.09	0.12	0.54	0.01	0.95	0.02	0.02	0.30	-	-	0.04	

* 百日咳は、2018年1月1日から5類感染症(全数把握疾患)に変更になりました。

■新たに判明した病原体検出状況

(検査: 広島市衛生研究所)

診断名	主症状	年齢	性別	発症年月日	検査材料	検出病原体
インフルエンザ	発熱(38.2) 鼻炎	4	女	2018/11/17	鼻汁	ライノウイルス
インフルエンザ	発熱(39.0) 咽頭炎 鼻炎	14	男	2018/11/19	鼻汁	インフルエンザウイルスA(H3)型
インフルエンザ	発熱(39.0) 上気道炎	10	女	2018/11/19	咽頭拭い液	インフルエンザウイルスA(H1N1)2009型
その他の消化器疾患	血便 嘔吐	1	男	2018/08/27	糞便	アデノウイルス2型 エコーウイルス11型
その他の疾患	発熱(38.0)	4	男	2018/11/01	咽頭拭い液	ライノウイルス エンテロウイルス68型

* 感染症発生動向調査に基づく病原体定点搬入分のみ掲載

■インフルエンザを予防するための注意点

- ◆ こまめに、流水と石けんで手を洗いましょう。
- ◆ 咳エチケットを心がけましょう。
 - ・咳やくしゃみが出る時は、マスクを着用しましょう。マスクがない場合は、ティッシュなどで口と鼻を覆い、他の人から顔をそらしましょう。
 - ・使用後のティッシュは、すぐにゴミ箱に捨てましょう。
- ◆ 室内は加湿器などを使って、適切な湿度(50~60%)に保ちましょう。
- ◆ 十分な休養とバランスのとれた栄養摂取を心がけましょう。
- ◆ なるべく人混みを避けましょう。
- ◆ 症状などからインフルエンザが疑われる場合は、早めに医療機関を受診しましょう。

【参考】厚生労働省 インフルエンザ(総合ページ)

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekaku-kansenshou/infuenza/

海外での感染症予防について(厚生労働省検疫所FORTH) <https://www.forth.go.jp/news/20181119.html>
(海外で注意すべき感染症とその予防対策等について掲載されています。)

本週報は、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。なお、感染症情報の詳細についてはホームページをご覧ください。

URL <http://www.city.hiroshima.lg.jp/eiken/center.html>

【問い合わせ先】

広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650
TEL(082)277-6575 FAX(082)277-5666

広島市西区商工センター四丁目1番2号
E-Mail ei-seikatsu@city.hiroshima.lg.jp

2018年第51週(12月17日~12月23日)